

## 16. 第3回 MSJ-SI (2010年度) 開催報告

●第3回日本数学会季期研究所「ガロア・タイヒミュラー理論と遠アーベル幾何の展開」[The 3rd MSJ-SI “Development of Galois-Teichmüller theory and anabelian geometry”]

●日時：2010年10月25日(月)～30日(土)

●場所：京都大学数理解析研究所

●共催：京都大学数理解析研究所

●組織委員：

中村博昭(委員長, 岡山大理)

玉川安騎男(京大数理解)

Florian Pop (Univ. of Pennsylvania)

Leila Schneps (CNRS)

●参加者数：総計 107 名

国内参加者数：69 (学部生：1, 大学院生：17)

海外参加者数：38 (学部生：0, 大学院生：4)

(仏 13, 米国 12, 韓国 3, 台湾 3, ドイツ 3, 英国 2, 伊 1, ルーマニア 1)

●講演

入門サーベイ：1 時間×6

研究講演：50 分×16

●目的と内容(抜粋)：

1980年代初頭に A. Grothendieck は研究プログラムの概要として、ガロア群と代数曲線やそのモジュライ空間の数論的基本群に現れるディオファントス的な性質の緊密な相互関係を研究することを提唱した。1990年代以来のわが国の研究者による重要な研究に続き、今世紀に入ってから新しく開発された遠アーベル的な手法により基本的な予想の解決も含め多くの成果が挙げられているが、一方で、未解決の予想や新たな問題をめぐり国際的に活発に研究されており、全貌を総括する機会が望まれていた。このような背景の中、日本が指導的存在である遠アーベル予想とグロタンディーク・タイヒミュラー理論に関する国際研究集会として、日本数学会は「第三回日本数学会季期研究所」に、当該研究課題

を選んだ。日本数学会の理事会・学術委員会メンバーの後援のもと、数理解析研究所との共催の形で特別計画として準備を進め、組織委員には、組織委員長(中村)と実施機関所属会員(玉川)の2名に、海外から当該分野の揺籃期からの活躍で著名な Florian Pop 氏, Leila Schneps 氏が加わり、この分野の主要な研究者を招き、サーベイ講演・研究発表と討論を行なった。

●招待講演者：

André, Yves (CNRS)

Asada, Mamoru (Kyoto Institute of Tech.)

Brown, Francis (CNRS)

Cartier, Pierre (IHES)

Ellenberg, Jordan (Univ. of Wisconsin)

Furusho, Hidekazu (Nagoya Univ.)

Garuti, Marco Andrea (Univ. di Padova)

Harbater, David (Univ. of Pennsylvania)

Hoshi, Yuichiro (RIMS, Kyoto Univ.)

Ihara, Yasutaka (Kyoto Univ.)

Lochak, Pierre (CNRS)

Marin, Ivan (IMJ, Univ. Paris Diderot)

Matsumoto, Makoto (Univ. of Tokyo)

Mochizuki, Shinichi (RIMS, Kyoto Univ.)

Nakamura, Hiroaki (Okayama Univ.)

Pop, Florian (Univ. of Pennsylvania)

Saïdi, Mohamed (Exeter Univ.)

Schmidt, Alexander (Regensburg Univ.)

Schneps, Leila (CNRS)

Sharifi, Romyar (Univ. of Arizona)

Stix, Jakob (MATCH, Univ. Heidelberg)

Takao, Naotake (RIMS, Kyoto Univ.)

Tamagawa, Akio (RIMS, Kyoto Univ.)

Tsunogai, Hiroshi (Sophia Univ.)

Wickelgren, Kirsten (Harvard Univ.)

●プロシーディング出版計画：

第三回日本数学会季期研究所「Development of Galois-Teichmüller Theory and Anabelian Geometry」および数理解析研究所合宿型セミナー「Galois theoretic arithmetic geometry」の両企画を総合した報告集として ASPM の内の 1 冊として出版すべく、ASPM 委員会に企画書を提出し承認された。

●本会議の運営について(抜粋)：

日本数学会から、以下の運営の援助を得た

のは大変に有り難かった.

- ・ポスターの制作, 発送
- ・理事長名による招待状の発送
- ・Web ページの更新, 管理
- ・問い合わせメールへの返信
- ・会期初日の理事長挨拶
- ・理事長・組織委員と韓国・台湾数学会からのゲストとの昼食会
- ・会期 2 日目～ 4 日目の運営補助 (アンケート用紙, 団体写真の撮影, 韓国・台湾の方の観光案内, 懇親会の受付と参加費徴収)
- ・参加者用のホテル (50 部屋分) の早期確保  
(「第 3 回 MSJ-SI 実施報告書」より)